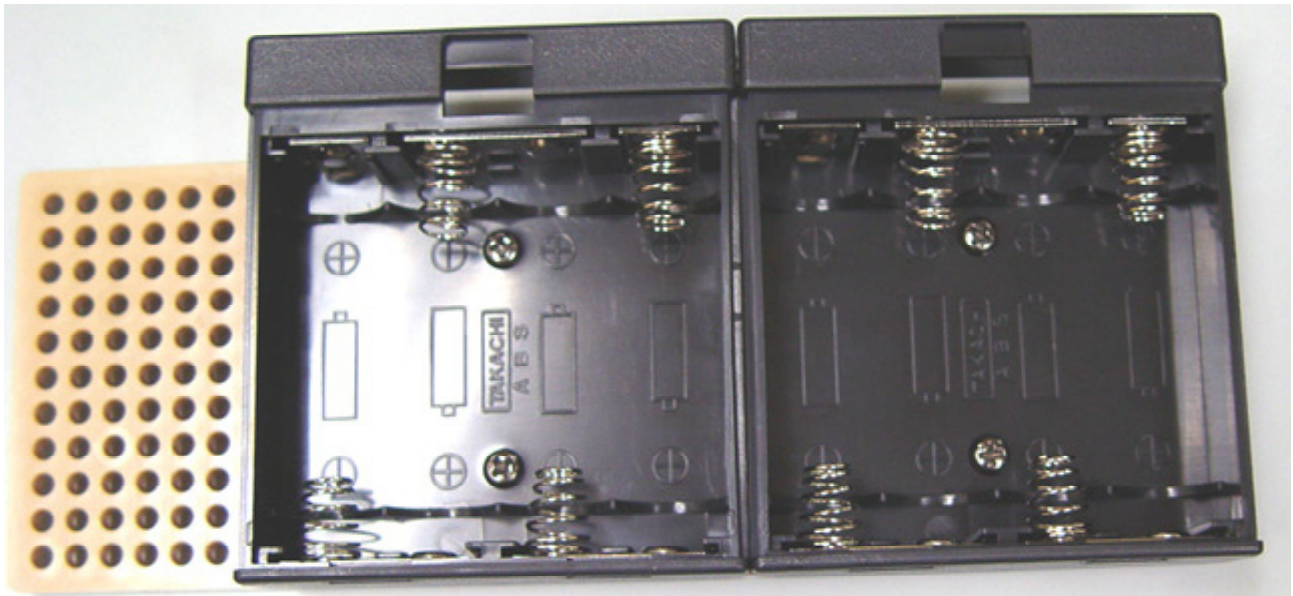


## マイコンカーキット(Vol.3)製作追加情報(電池ボックスの穴開け)

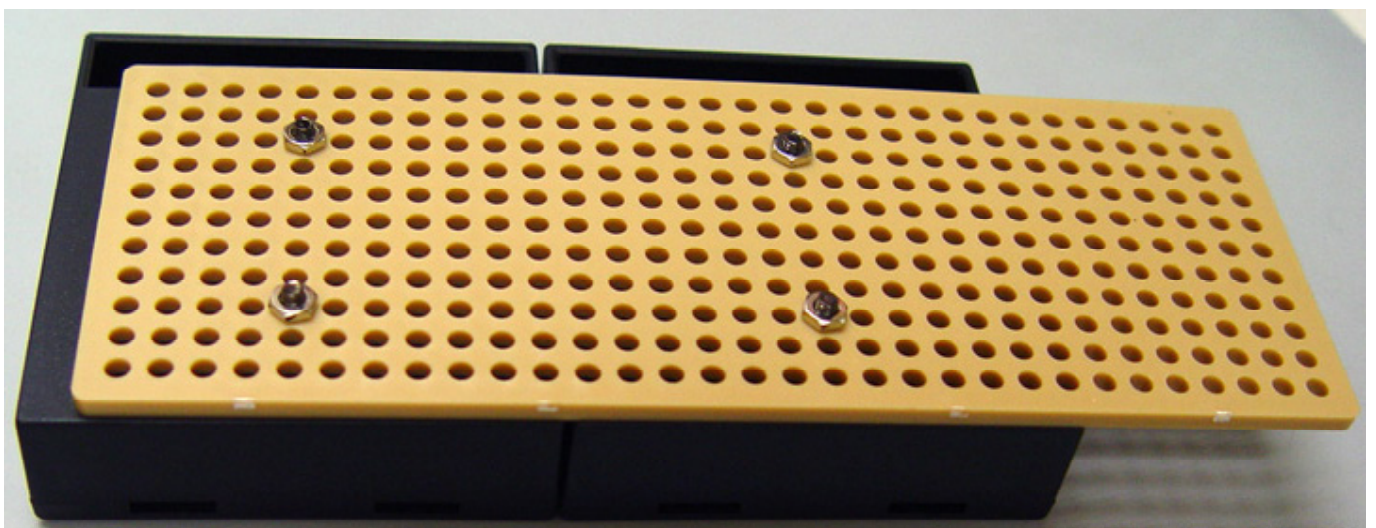
ジャパンマイコンカーラリー実行委員会  
2005.09.26

マイコンカーキット(Vol.3)を製作するにあたり、電池ボックスの穴開け作業に関して、効率的で正確な方法が見つかりましたのでお知らせします。今までは寸法を測って穴あけをしていましたが、以下の方法ではその必要が全くなく、また間違いの可能性も少ないと思います。

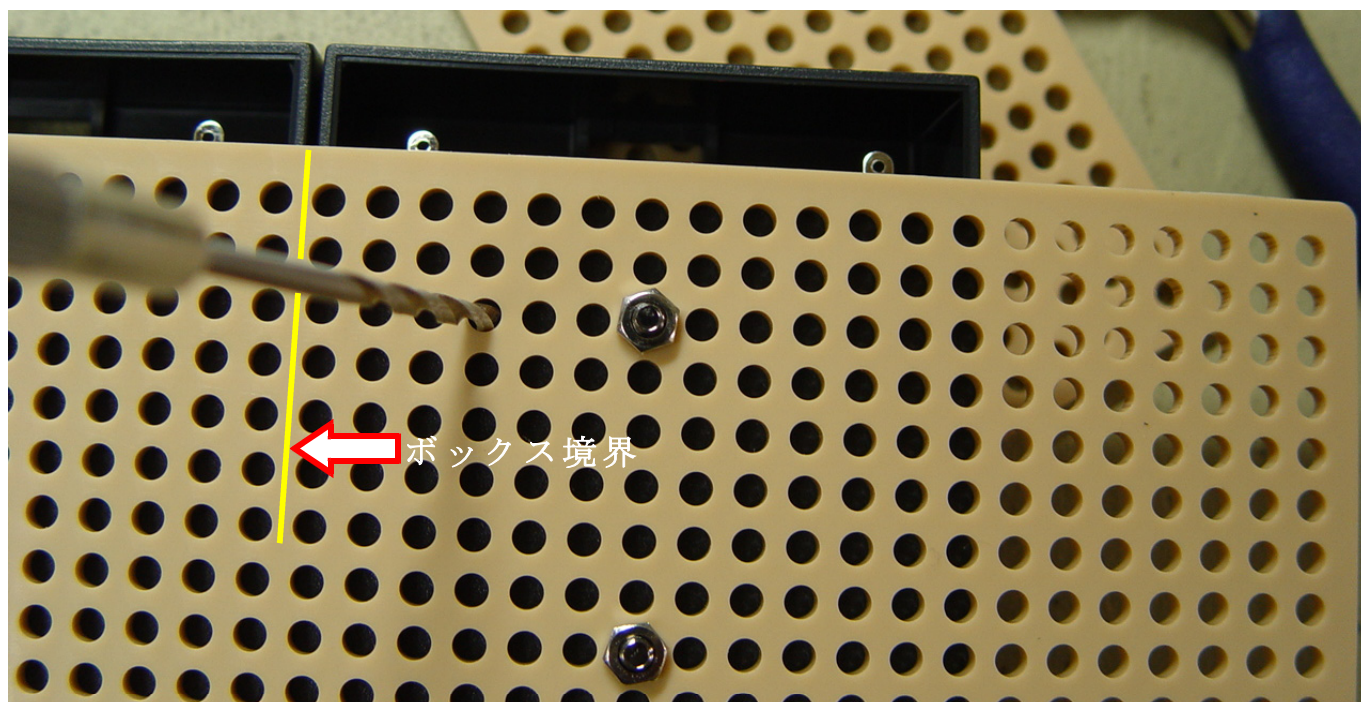
- ① ユニバーサルプレート板を、穴開け用のガイドとして一時借用します。  
電池ボックスを同じ向きにして、写真のようにほぼ密着させて二つ並べて配置します。  
どの様に配置しても良いですが、下の写真のように、プレートの縁と電池ボックスの縁を、ほぼ一致させるように配置して、手近にある3mmのビスを穴に差し込みます。  
写真では、ユニバーサルプレートセットに入っていた黒ビスを使用しましたが、出来れば電池ボックス取り付け用として用意されている、平ビスの方が穴の遊びがより少なくなるので、良いと思います。



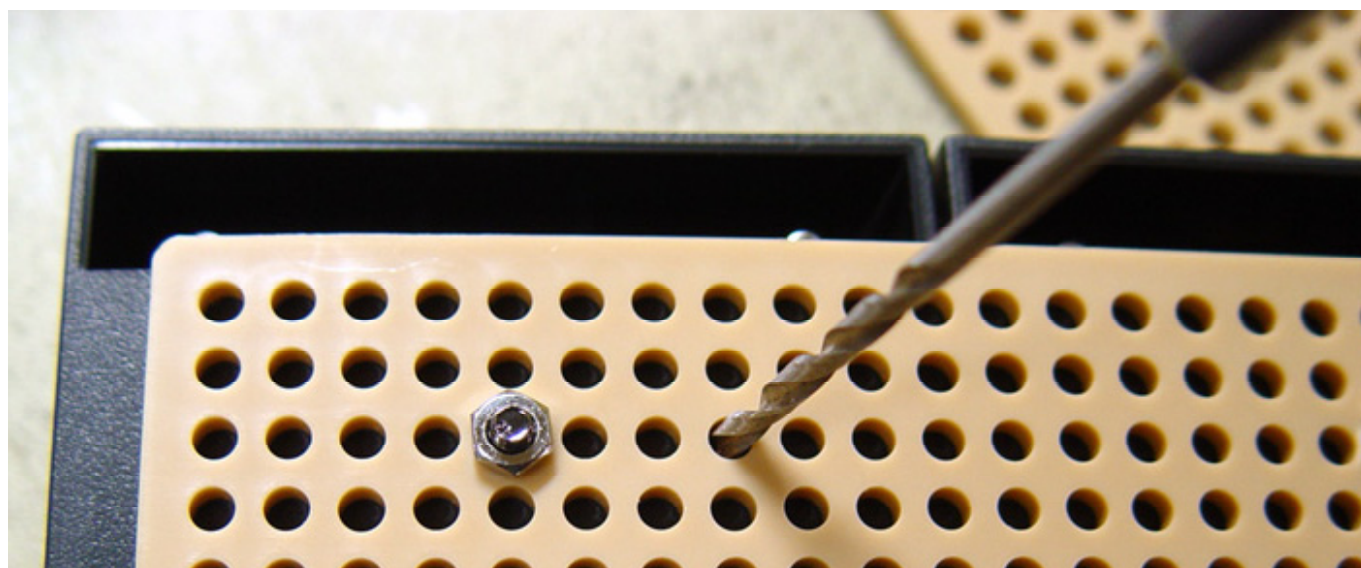
- ② 裏側でナットをしっかり締めます。



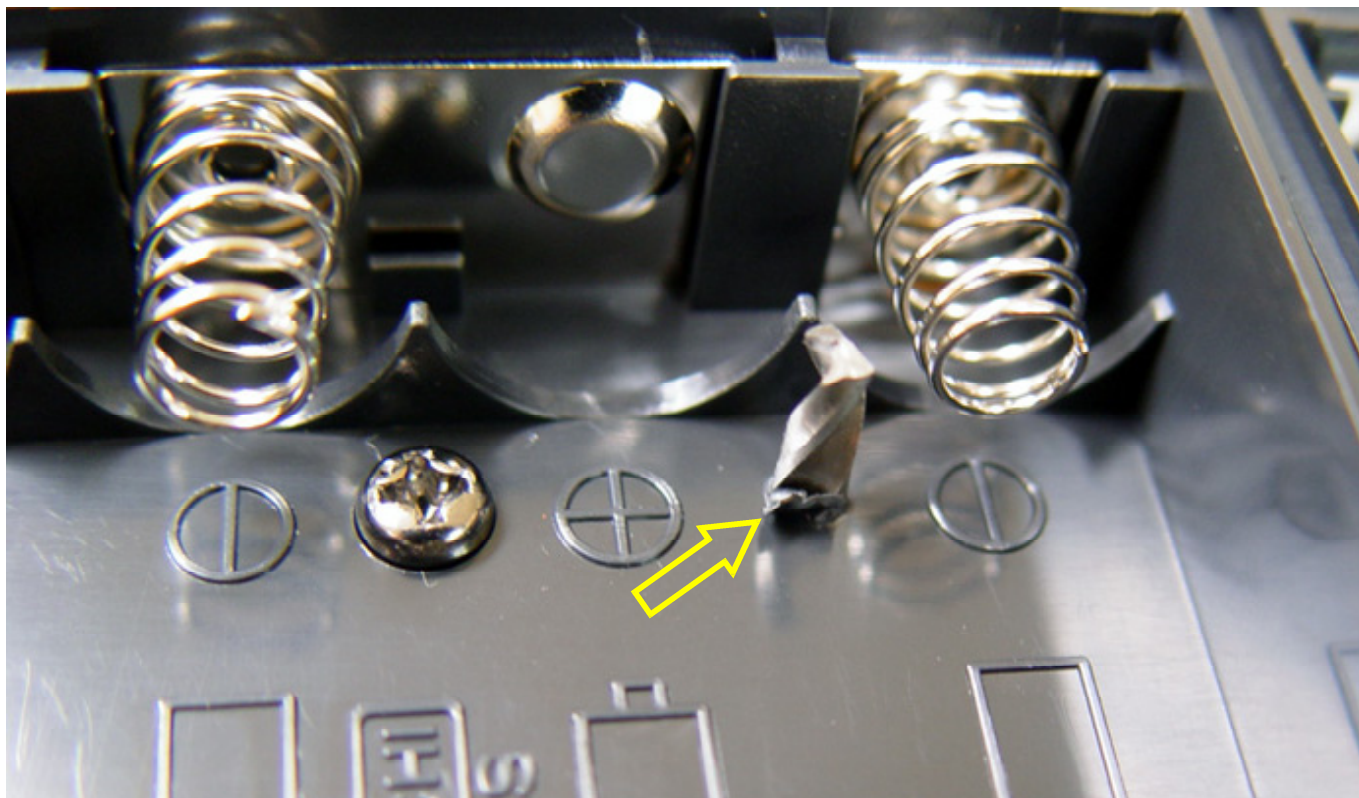
- ③ 両ボックスの境界側へ、穴を2個とばした位置に穴を開けます。百元ショップで購入した2mmのハンドドリルを使用しました。



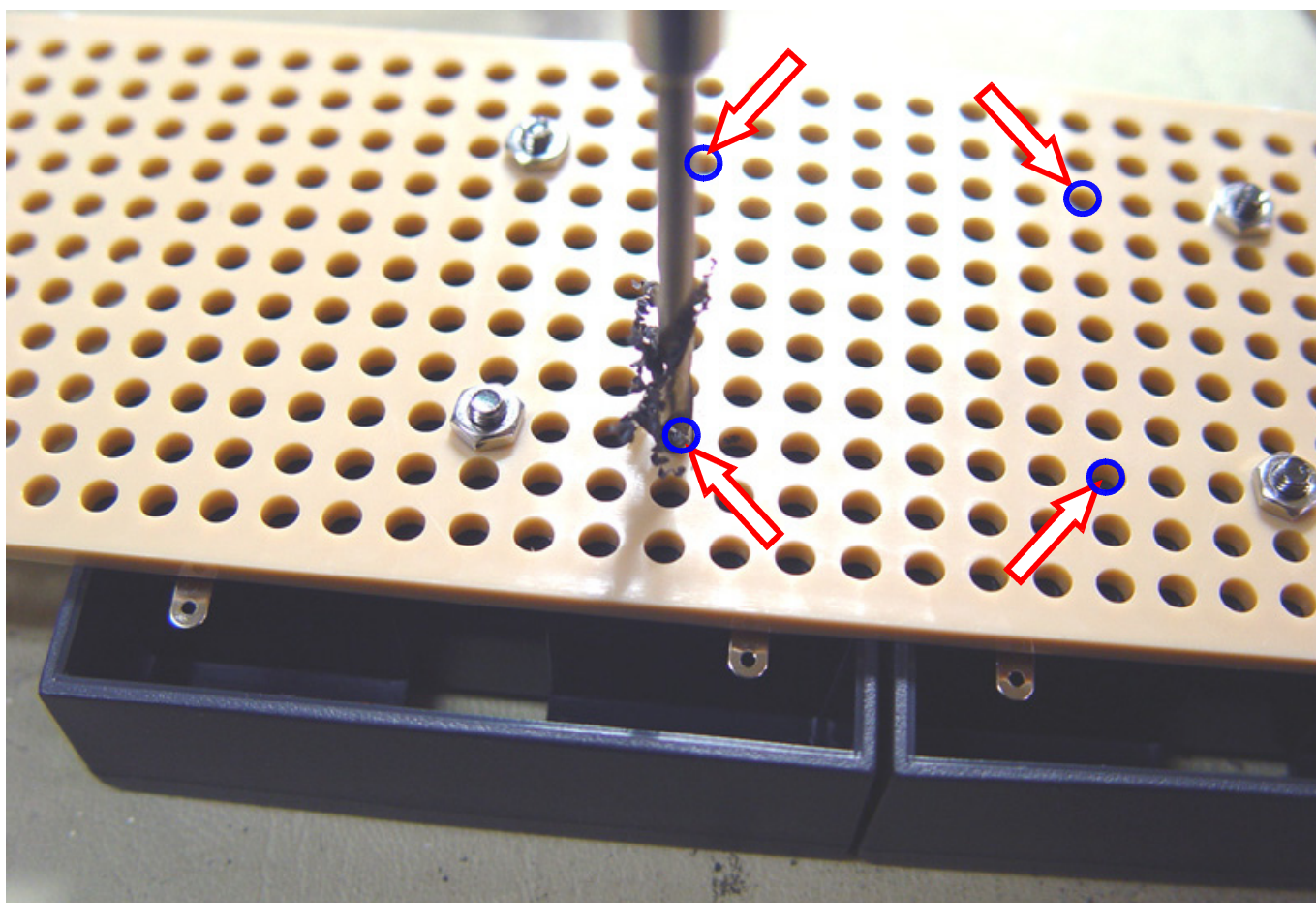
- ④ 次は3mmのドリルで穴を広げます。



⑤ ドリルの刃先はほぼこの位置に出ます。



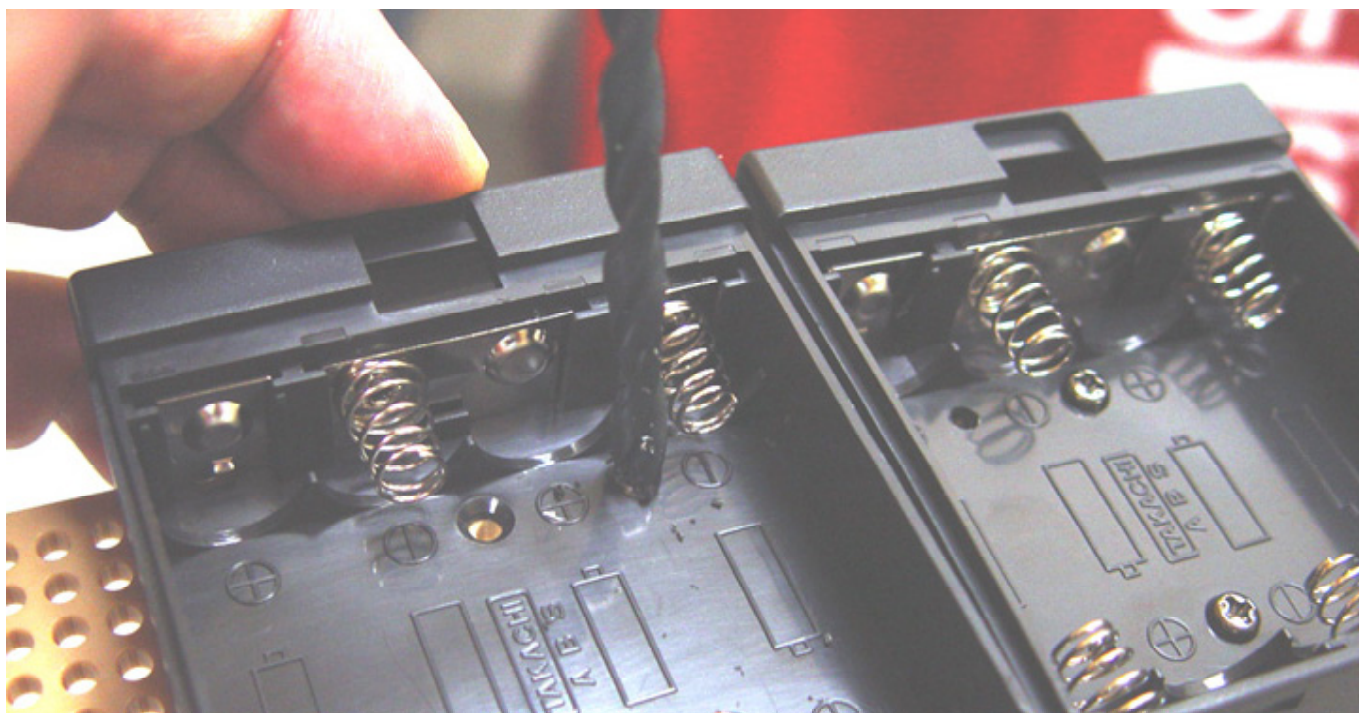
⑥ 下に示した4個の穴が対象となります。



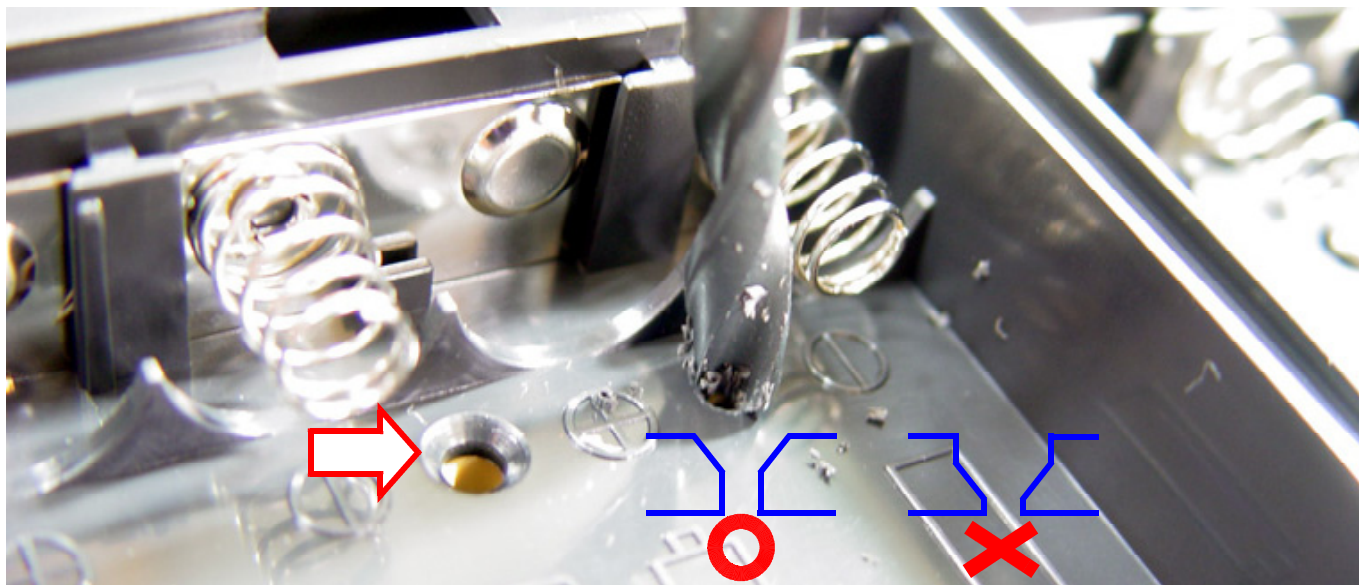
- ⑦ 5本一組になったドリル刃を、これも百円ショップで手に入れました。その中の 5.5mm のドリル刃先端を、3mm で開けた穴にあて指で回して軽く揉みます。平ビスの頭が収まる程度にします。ドリル刃は矢印のあたりを直接指で回します。



- ⑧ あまり垂直方向に力を加えず、ハンドドリルのようにして軽く回します。刃が食い込むと回しにくくなるので、少しずつ削り取るように回します。



⑨ 既存の穴を参考にして刃先が深く入らないようにします。すり鉢型はOK。漏斗型はNG。



⑩ 4個の穴の揉み落としは終わりました。  
ビスをはずして完成です。

